

分掌・教科	評価領域	評価項目	重点目標	重点目標の評価指標	ターゲット	評価	具体的方策	方策の評価指標	ターゲット	評価
			「学校経営の重点」「生徒満足度調査」「前年度の成果と課題」等を受けて、何を重点目標とするか。	どのような結果・成果をもって重点目標が達成されたか。			重点目標のターゲットをクリアするために、どのような行動をとるか。	どのような状態をもって「方策を十分講じた」と判断するか。		中間 年度末
国語科(北)	学習指導	学力の向上の意識付け	生徒1人ひとり、クラス・講座全体が積極的に授業に参加し、学力の向上を実感させる。	授業アンケートQ6の平均値	3.5		生徒一人一人に定期テストや単元の終わりごとに評価の状況を説明し、改善を図らせる。 単元ごとに1回以上の授業内容を踏まえた課題を課し、それを評価する。 学習習慣の定着のため、計画的に小テストを実施し、それを評価する。	実施回数 実施回数 実施率	定期テストごと 単元ごとに1回以上 90%	
地歴・公民科(北)	授業	基礎学力の向上	学習に向かう雰囲気を作り、基礎学力の向上を図る	授業アンケート項目Q3、6、8の平均値	3.4		授業開始時に教科書、資料集、ノートなど必要物を確認する。 考査ごとに学習内容の振り返りを行う。 学期ごとに授業見学と意見交流を行い、ICTの活用方法などを共有する。	年間実施率 実施回数 実施回数	95% 5回 2回	
数学科(北)	授業	授業規律の向上と授業への積極的な参加	規律ある授業を確立し、生徒たちに意欲的に取り組ませ、基礎学力の充実を図る。	授業アンケートQ3「この授業は説明がわかりやすい」Q12「私は積極的に取り組んでいる」の平均値	3.3		服装等の身だしなみ、起立、礼を徹底する。 意欲を高めるプリントや教材を作成し、演習をさせる。 ICT活用について教科内研修を実施する。	授業の取組の点検 プリント等利用の回数 教科内研修の実施	週3回 週1回 年3回	
理科(北)	授業	基礎学力の向上	授業に興味・関心をもち、自然現象に対する関心と理解を高める。	不振者数の減少	年度末成績不振者数が全生徒数の10%以下		実物を手に取っての観察や実験、実験動画を用いて「考察」を行わせる。 生徒の学習内容の定着度を高めるために確認テストを行う。 課題を設定し、レポートを作成させ、科学的な思考・表現力を高める。 授業・受け持ち生徒および評価に関する報告・検討会を設ける。	実施回数 実施回数 実施回数 実施回数	各講座平均3回 各科目1回以上/単元 各科目2回以上/学期 年間30回以上	
保健体育科(北)	授業	学習意欲の向上	自らの健康を管理し、改善できる資質や能力の向上を図る。	授業アンケートQ12「私は授業に積極的に取り組んでいる」の評価の平均値	3.5		ベル着、授業開始時と終了時の挨拶を徹底する。 授業での身だしなみ、ルールやマナーを守る意識を向上させる。 健康の保持増進につながる基礎体力の向上を目指す。	体育・保健ともに授業開始1分前に授業の準備をして集合完了と、しっかり整列して挨拶ができる割合 体育・保健ともに、装飾品や化粧など身だしなみ指導をしっかりと、怪我なく事故なく安全のためにルールを遵守する割合 トレーニング30秒MAX、持久走、ロードレースの記録向上割合	70% 70% 70%	
芸術科(北)	授業	授業の取り組み状況	授業規律を確保し、諸活動に真剣に取り組む姿勢の定着を図る	授業アンケートの項目7,8,10,11の全講座平均値	3.5		授業開始チャイムの前からベル着を呼びかけ、忘れ物の確認や私語・居眠り・活動状況について常に指導する。 取り組む課題について、作品や演奏でより良い表現を目指して粘り強く努力するように指導する。 日頃の成果を発表する場を設定することで、自己の作品・演奏に責任を持たせるとともに、鑑賞指導の充実を図る。	授業規律確保のための声かけの状況 各生徒の活動状況に応じた指導の割合 作品や演奏を発表し鑑賞する場面の設定(講座クラス内での発表会を含む)	常時 80% 全講座、年に1回以上	
英語科(北)	学習指導	基礎学力の向上	授業を大切にしている意識を育て、家庭での学習習慣の確立及び基礎学力の向上を図る。	授業アンケートQ6(学力・技術の伸長を感じる)の平均値	3.2		小テストや授業の振り返りシート等を実施し、生徒の学習状況と定着度を確認する。 「知識・技能」だけではなく多様な観点から評価できるよう課題を精査し、こまめな点検を実施する。 表現活動について内容を精査し、どの講座でもALTを活用し、生徒が主体的に取り組む時間を確保する。	各学期の実施回数 各学期の実施回数 各学期の実施回数	10回以上 10回以上 2回以上	
家庭科(北)	学習指導	学習意欲の向上	今後の自分の生活をより良くする方法を考えさせるために、授業に前向きに取り組ませる。	授業アンケートQ12「私は積極的に先生の質問に答えたり課題に取り組んだりしている」の平均値	3.3		興味関心を持たせ、内容の理解度を高めるために、視聴覚教材を効果的に使用する。 授業の振り返りを記入させ、生徒の興味関心の高さを授業の理解度を確認する。 授業内容と自分の生活を結び付けるための課題を設定する。	ICT機器の使用割合 1年：振り返りシートの点検回数2.3年：授業プリントの点検回数 自分の生活について考える課題の設定	90% 毎回 80%	
情報科(北)	授業	授業に対する取り組み	前向きに授業に取り組む、情報化社会で生きていくための知識と技術を習得させる。	授業アンケートQ6「学力・技術の伸長を感じる」の平均値	3.3		座学の授業をこちらで作成した動画を見せ、Webテストを行う事で定着を図る。 課題やワークシートの提出を徹底する。	実施回数割合 提出割合	90% 80%	
商業科(北)	授業	授業の成果	ビジネスに関する知識や技術の修得と資格取得	授業アンケート「学力や技術が伸びた」の回答の平均値	3.1		全ての授業において、パソコンまたはタブレット端末を活用する。 毎時の授業で、学習の振り返りができる時間を設定する。 資格取得の有効性を説明し、受験者および合格者を増やす。	授業における使用頻度。 各授業での実施率 ビジネス系検定試験の受験者数	80%以上 70%以上 18人以上	
国語科(南)	学習指導	基礎学力の向上	積極的に学習する雰囲気作りを努め、基礎学力の向上を図る。	授業アンケートQ7～Q12の平均値	3.4		定期考査毎にノートを回収し点検する。 授業外での学習習慣の定着を図り、小テストを行う。 ICT機器を活用し、授業内容への興味関心を促す。	点検回数 小テスト回数 機器使用回数	考査毎 年間10回以上 単元毎に1回	
地歴・公民科(南)	学習指導	基礎学力の向上	授業を意欲的に取り組む姿勢を身につけさせ、基礎学力の向上を図る	授業アンケート項目Q1～Q12の平均値	3.4		授業中にノートを取らせる。また、学習項目毎にまとめ・感想を記入させる。定期的に点検をし、加点の対象とする。 ICT機器を活用し、授業への興味関心を促す。 タブレット所持の学年に対しては、生徒がタブレットを利用した授業を導入し、学習意欲を喚起する。	実施回数 機器の使用回数 機器の使用回数	5回 週に1回 単元毎に1回	
数学科(南)	学習指導	基礎学力の向上	授業規律を確立する。 生徒の学習意欲を高める工夫をし、基礎学力の充実を図る。	授業アンケートQ10「私は授業の準備をしっかりとしている。」の平均値	3.4		定期的に課題を課し、ICTを活用し家庭学習の習慣と基礎学力を身につけさせる。 始業チャイムと同時に立礼をし、授業に取り組む態度を身につけさせる。	実施割合 実施割合	70% 80%	
	検定・資格	検定受験・資格取得	数学検定を通して数学に対する興味・関心を引き出し、数学的な見方・考え方を身につけさせる。	数学検定の受験者数	3名		数学検定への受験を呼びかけ、資格取得を意識させる。 数学検定に向けた補習を行う	授業内での呼びかけ 補習の実施回数	3回 2回	
理科(南)	学習指導	基礎学力の向上	学力の定着を図るため、学習に取り組む姿勢を高める	授業アンケート項目「この授業は楽しさ」の評価の平均値	3.3		各生徒の学習状況を把握するため定期考査毎にノート点検。 成績不振者に学習方法の指示を行い、状況に応じて補充を行う。	学習したノートの提出 成績不振者への補充実施	定期考査毎に提出 定期考査毎に実施	
保健体育科(南)	授業	学習意欲の向上	授業開始時の意欲を高める。 提出物の完成度や提出率を高める。	授業アンケートQ10「私は授業の準備をしっかりとしている。」の平均値	3.8		体育/保健の授業開始時における生徒準備状況を評価する。 授業ノート並びに指導計画案等提出物を期限内に提出する。	授業開始前の授業準備状況や2分前集合整列状況 一定レベル以上の完成度に高めた上で、提出率を上げる。	80% 80%	
芸術科(南)	学習指導	生徒の授業への意識の向上	意欲的に取り組む姿勢を高める	授業アンケート7,8,9の平均値	3.3		机間指導等の学習への取組状況の確認。 課題や作品の提出期限を守らせる。 授業規律を確保する。	生徒の活動状況に応じた指導の割合 提出期限の明示、声掛けの実施 私語・居眠り等を促す生徒への注意	常時 課題毎 90%	
英語科(南)	学習指導	基礎学力の向上	ICT機器を有効に活用し、基礎学力の向上させる	授業アンケートQ7～12の平均値	3.5		ICT機器を活用した授業の実施 小テストを実施し、生徒の学習状況と定着度を確認する 表現活動を実施し、生徒の主体的な学習を促す。	実施割合 各楽器の実施回数 各楽器の実施回数	85% 5回以上 2回以上	
家庭科(南)	学習指導	基礎学力の向上	実践的・体験的な授業を通して、家庭科に対する興味関心を引き出すとともに、知識・技能の向上をはかる。	授業アンケート5,6の項目の平均値	3.1		実践的・体験的な授業の実施 ICT機器を活用した授業の実施 授業時間内の課題や、振り返り課題の実施	実践的・体験的な授業割合 実施割合 実施割合	60% 85% 70%	
情報科(南)	学習指導	学習意欲の向上	主体的に授業に参加し自ら学ぶ態度、姿勢を育てる	授業アンケートQ12「私は積極的に先生の質問に答えたり課題に取り組んだりしている」の評価の平均値	3.3		授業開始時にはコンピュータ起動ができていないか点検する。 課題への取組状況や態度を点検する。	指導割合 指導割合	80% 80%	
福祉科	学習指導	基礎学力の向上及び専門的な知識や技術の定着	授業規律を確立し、専門的な知識・技術の定着をはかる。	授業アンケート7～12の平均値	3.6以上		授業準備を徹底し、授業に取り組む態度を身につけさせる。 ICT機器を活用した授業を実施する。 生徒の様子や授業内容について情報交換を行う。	各授業での実施率 実施割合 教科会議の実施回数	90%以上 50%以上 月2回以上	